

平成30年度

沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科

生活造形専攻 デザイン専修

入学試験:実技/生活環境デザイン研究室

(解答時間 午前10:00~17:00)

受験番号	
氏名	

問題①

沖縄県は歴史的・地理的に独自の文化があるが、デザインの分野では伝統を踏まえるだけでなく革新的な提案が求められる。ローカルから始まりグローバルへ、沖縄から世界へ貢献する為の課題や今後の展望を述べなさい。

[配点 25点]

条件1：解答用紙①を使用すること。

条件2：200字以内。

問題②

アメリカのロン・メイス博士が提唱したユニバーサルデザインの7原則をふまえた、カバンをデザインしなさい。

[配点 75点]

※ユニバーサルデザイン(Universal Design、UD)とは、文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)である。

条件1：男性・女性用は問わない。

条件2：ユニバーサルデザインの7原則を無理に全てを満たす必要はない、自由な考えで誰にでも役立つアイデアを求める。

条件3：考案した手描きのスケッチを描きなさい、着彩もすること。着彩の手法は問わない。

条件4：解答用紙②に簡潔にコンセプトを記述し、解答用紙③に手描きのスケッチを描くこと。

ユニバーサルデザインの7原則

1. 誰にでも公平に利用できること
2. 使う上で自由度が高いこと
3. 使い方が簡単ですぐわかること
4. 必要な情報がすぐに理解できること
5. うっかりミスや危険につながらないデザインであること
6. 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
7. アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

※提出物：以下のすべてを提出すること。

問題用紙：1枚、解答用紙①：1枚、解答用紙②：1枚、解答用紙③：2枚、下書き用紙：6枚